

# 6月8日(日)に市全域で実施します



生活環境課 ☎22-1314

## 東日本大震災の教訓から、より実践的な訓練と備えを！

昭和53年6月12日、宮城県沖を震源とするM7.4の地震災害を契機に制定された「宮城県民防災の日」。本市では、地域防災計画に基づき白石市総合防災訓練を実施します。

昨年度までは各地区持ち回りで重点地区を設け、地域住民や消防団、消防署、警察署、自衛隊など防災関係機関・各種団体による防災訓練を実施してきました。

平成26年度からは、各地区で一時的避難場所への避難訓練と市内すべての指定避難所の開設・運営訓練を実施します。

災害発生初期期において、地域住民の避難行動と市職員、指定避難所となる施設の職員などとの連携した訓練を実施することで、迅速での確かな行動と相互の協力体制の確立を図るとともに、地域住民の防災意識の高揚と防災技術の習得を図ることを目的とします。

- 日時 6月8日(日)  
午前8時～10時30分
- 場所 市全域
- 訓練想定  
震度6弱の地震が発生したとの想定で訓練を実施します。午前8時にエリアメールとサイレ

ン吹鳴で、市民に対し震度6弱の地震発生をお知らせし訓練を開始。市職員と消防団員は、防災メールで災害体制の指令を発信します。

被害想定は、各地区や自主防災組織・自治会単位などで土砂災害や住宅の倒壊、堤防の破堤など地域の状況に合わせた被害想定での実施をお願いします。

●訓練内容 4月以降、各地区、各避難所ごとに話し合いを行い、訓練内容を作成します。

①運営班ごとに具体的な訓練計画を作成し実施します。

・総務班 避難所使用スペースの区割り、発電機の設置場所  
・情報管理班 避難者受付場所の設置

・施設衛生班 施設の安全確認、簡易トイレの設置方法  
・食料物資班 食料・物資の保管場所や配付方法

②消防署員や警察官などによる訓練(市が指定した避難所のみで実施)

・消防署員による応急救急・救助訓練  
・警察官による災害時の防犯講話  
・自衛隊、NIT、東北電力白石営業所による訓練や災害復旧機材の展示など

③備蓄品を活用した訓練  
・毛布、発電機は配備済みです。プライベート TENT(男女別の更衣室)、簡易トイレ、フロアマット(使用後クリーニングした毛布を使用)、「指定避難所」掲示看板、照明器具などを指定避難所に備蓄をお願いする予定。これらの物資の使用訓練が可能です。

・東日本大震災時に支援を得て備蓄している非常用食料のレトルト食品約900食、水で戻す餅などの食品約800食が来年2月～3月に賞味期限を迎えるため、これらの物資を利用した物資輸送訓練の実施が可能です。

※運営委員会のベスト(委員長・副委員長・運営委員)を作成する予定です。

●訓練の中止 訓練は小雨決行とします。ただし、災害発生、または、異常気象などによる災害が発生する恐れがある場合、その他特別の事情で訓練が実施できない場合は、訓練を中止するものとします。

※訓練の中止は午前6時30分までに決定し、安心メール、防災メールのほか、各地区本部長を経由して各自消防組織や自治会に連絡します。

## 防災マップの作成や防災訓練に活かす！

### ワークショップ形式による地域主体の図上訓練を開催



平成25年度市総合防災訓練の課題の解決と、地域防災計画の見直しの基礎資料とするため、2月～3月まで計17回、「防災ワークショップ」を市内10地区で開催しました。ワークショップには、各自治会や各自主防災組織、各学校の関係者や、各避難所担当の市職員など、約400名が参加。ワークショップでは、大きな地図に、防災上の課題や注意点、危険箇所や要注意箇所などをふせんに書いて張り付けた後、地区のプラス要素とマイナス要素をふせんに書いて模造紙に張り付け、「自分たちでできること」「行政と協力が必要なこと」「すぐにできること」「時間とお金がかかること」

に分類。その後、地区の課題と解決策を出し合った上で、今後地区で特に力を入れて取り組んでいく3つの目標を話し合いました。

市では、各地区で話し合いが行われた内容をもとに、防災訓練での活用や地域防災計画の見直しに併せて、防災マップを作成し、全戸配布できるよう準備を進めるとともに、6月8日(日)に実施する防災訓練に活用する予定です。

※危険箇所や災害履歴、避難経路などは、抽出しきれない箇所や課題があるため、地区の実情に詳しい住民や消防団に確認を依頼しました。

## 市役所駐車場内に防災対策の拠点

### 5月7日、「白石市防災センター」が完成予定！



債事業)を活用して、「白石市防災センター」を建設中です。

停電時には、太陽光発電による非常用蓄電池とLPガス発電機から必要な電源の供給がされるほか、備蓄倉庫も併設し、防災行政無線などの防災関連機器をすべて移動させ、災害時には災害対策本部を2階に設置して本市の防災対策の拠点とします。

- 場所 白石市大手町1番1号 市役所駐車場内
- 規模 鉄骨造2階建て
- 延べ床面積 348.61㎡ (1階175.33㎡、2階173.28㎡)
- 設計監理 株式会社構建築設計事務所
- 請負業者 大和リース株式会社仙台支店
- 主要室 会議室(災害対策本部)、備蓄倉庫、無線指令室
- 主要設備 市役所本庁舎太陽光発電設備からの発電電力、LPガスバルク貯槽ユニットとガス発電機
- 概略工程  
着工日 平成25年12月25日  
完成予定 平成26年5月7日

東日本大震災では、地震による建物へのダメージが大きかったことや余震の影響で、防災計画に定めていた市役所3階会議室に災害対策本部を設置できず、1階ホールに本部を設置せざるを得ませんでした。

このため、市役所駐車場にある公用車用の車庫西側の一部を取り壊し、平成25年度緊急防災・減災事業(起